

## 徳地での研修について。

## 2023年度に向けて

卒業論文を書き終え、そして3月に4年生の卒業を見送った後、4月になれば新生がやってきます。

1年生は入門セミナーにクラス指定で振り分けられます。そして、ゼミ担当教員とスチューデント・アシスタント（SA）に見守られながら大学生活を送ることになります。

新生生にとってはゼミの先生のみでなく、先輩であるSAによるサポートが、大学生活を始めうえで大きな助けとなることでしょう。

そして頼れる・頼りがいのあるSAを育成するために、本学では毎年、春休みに研修を行ったりしています。ここでは、その研修のひとつである、山口県の徳地にある青少年自然の家での研修の様子について、引率した山本雄三先生にお話を伺いました。（聞き手 松井貴英）

——徳地研修の引率、お疲れさまでした。

山本「2020年の新型コロナウイルス感染拡大の直前の2月上旬に行って以来、3年ぶりなんですよね。そんなわけで、今回の宿泊研修、学生たちは初めてだったんですよ。」

——伝統が切れてしまっていたんですね。

山本「ですから、経験していないんですよね。もちろん、アイスブレイクとかは、前の年の学内でのフレッシュズミーティングで実践した先輩たちがいたので、学生たちは、どのようなことを考えながら行うかということは、ある程度は解っていたようです。しかし、宿泊して研修を重点的にしっかりと受けるといのは初めてだったのです。

そのため、感覚的なものがわからない所があったようです。」

——では、具体的な内容を伺いたと思います。

初日はどのような感じでしたか？

山本「初日は屋内でアイスブレイクをひと通り行ないました。」



初日のアクティビティの様子。打ち解けてきていますね。

——単に学生を引率して研修させるのではなく、自分たちがフレッシュズミーティングでファシリテーションを実践できるようにするための研修ですから、実際に体験したことがない学生を高いレベルにまで上げていけないといけないという難しさもあると思いますし、学生には戸惑いがあったのではないかと思いますし……？

山本「1年生つまり来年度の新2年生ですから、まだこれからですね。上級生は自然な感じはしました。しかし、やはり1年生は初日の最初の関係づくりの時点で、集まった時

点で知っている人同士がくっついて、知らない人ばかりという学生はひとりで……。」

——集合しないわけですね。

山本「そうなんです。それで実際に体験して、途中休憩の時には、男女半々で分かれてではあるけれども徐々に打ち解け合っていましたね。」

——二日目には何を実践したのですか？

山本「ローエレメント（屋外に設置してあるアトラクションの種類のひとつ）ですね。そして、最後にアクティビティのねらいを説明してもらったり振り返りをしたりといったことを行ない、体験学習サイクルの説明もしていただきました。」



二日目のアクティビティの様子。目の前のミッションを与えられた条件の下でクリアすべく、誰もが皆、真剣です。

——気づいた点は何かありましたか？

山本「それぞれのアクティビティを実践していく中で、色んな学生の行動が見られたのですが、これはどうかな？ と思った場面でも、ファシリテーターの方は、場の雰囲気重視して、特に何も言わない……とか。」

——その他には？

山本「例えば失敗したとしても、出来ないこと自体問題ではなく、どのようにしてみんなでクリアするかとか、ルールの中で協力して、失敗した人をどうやってフォローするかとか……ということを実践を積み重ねながら学んでもらったというか。今回ぼくは参加しないで完全に見る側だったので、口を出さないように我慢していました。」

——学生たちの成長とか、伸びしろのようなもの見つけた場面とかはありましたか。

山本「それはもう、伸びしろは間違いなくありますよね。成長というよりは、学生が変化していくところを様々な場面で見ることができましたね。具体的な場面というよりは、様々な場面で……仲間とコミュニケーションを取ったり、自分のことを勇気をもっていうことができたりした場面とか。」

——そういった変化の先に成長があると。

山本「そうですね。一日二日で急に……ということはないかなと。繰り返しながら考えながら、今度自分がその立場になって、ファシリテーションを実践する時に、色々と考えたり悩んだりしながら試してみても、それを通して一歩ずつ成長していくということかなと思います。」

——そのような成長の瞬間は来そうだなという感じですかね。

山本「そうですね。学生のみなさんは真剣に取り組んでくれたので、もちろん来ますよ。」

2023 年度の準備は、着実に進められています。変化を超えて成長した先輩たちがスチューデントアシスタントとして新入生のよき相談相手となることを期待しています。